

令和5年度阿南市地域公共交通活性化協議会 第1回会議 議事録

日時 : 令和5年5月25日(木) 13:30~14:30

場所 : 阿南市役所3階 303会議室

出席者 : 【委員】

阿南市 副市長(会長)	山本 俊也	
阿南市 特定事業部長	田中 修司	
阿南市 保健福祉部長	吉岡 泰香	
阿南市 建設部理事兼特定事業部理事	柳川 克一	
徳島県次世代交通課 課長補佐	宮島 崇	
徳島バス(株) 企画管理部 副部長	東 孝行	
徳島バス阿南(株) 取締役社長	千本 寿史	
四国旅客鉄道(株) 徳島企画部長	山本 仁志	
毎日タクシー(有) 代表取締役	畠山 頼彦	
伊島連絡交通事業(有) 代表取締役	神野 梅夫	
四国地方整備局徳島河川国道事務所 専門職	岡井 大三郎	
徳島県南部総合県民局(阿南) 県土整備部部長	三好 一生	
阿南市 建設部長	藤原 雅典	
阿南市民生児童委員協議会 会長	撫養 千尋	
阿南市セニアクラブ 会長	吉田 忠彦	
利用者代表	小川 美紀	
四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査)	山本 美恵子	
四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官(総務・企画観光)	櫛田 哲也	
阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 准教授	加藤 研二	

【阿南市】

阿南市 市長 表原 立磨

【事務局】

(まちづくり推進課) 清原 課長、武田 課長補佐、西野 係長、下村 主事

欠席者 : 阿南警察署交通課 課長 津山 裕典

議 事 :

- (1) 令和4年度阿南市地域公共交通活性化協議会事業報告及び会計報告について
- (2) 令和5年度阿南市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)及び予算(案)について
- (3) 阿南市地域公共交通計画について
- (4) その他

## 1. 開 会

(阿南市長)【市長あいさつ】

## 2. 議 事

### 議事1. 令和4年度阿南市地域公共交通活性化協議会事業報告及び会計報告について

(事 務 局)【令和4年度阿南市地域公共交通活性化協議会の事業報告及び会計報告についての説明】

(全 委 員)【質疑応答なし】

### 議事2. 令和5年度阿南市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)及び予算(案)について

(事 務 局)【令和5年度阿南市地域公共交通活性化協議会の事業報告(案)及び予算(案)についての説明】

(全 委 員)【質疑応答なし】

(会 長) 特にご意見もないようですので、原案どおり承認します。

### 議事3. 阿南市地域公共交通計画について

(事 務 局)【令和4年度阿南市地域公共交通計画に関する事業報告、目標の評価指標及び進行状況、令和5年度計画に関する事業実施計画(案)、計画改定案について説明】

(委 員) 重点政策8のわかりやすい路線情報の提供ということで地域公共交通マップを作成するということだが、このマップは紙ベースで作成、デジタル化で広く周知していくのか。時刻表も載せるということだが、時刻表はその時々で変わるので、差し替えができるような形式にしたら長い期間使えるのではないかと思う。また携帯性が見込めるようなものを作るのがいいと思う。

(事 務 局) 紙ベースであり、サイズはB3を蛇腹折りにしたような小さく折りたたんだ形を想定している。データをホームページ等に掲載して周知していく

方向で検討している。時刻表の改正に対応できるようにデータをこちらで更新するような形で考えている。

(委員) ナカちゃん号のアンケート調査結果について、利用者の内何人に聞いて35人が回答してくれたのか。

(事務局) アンケート調査は、運転手の方に紙で利用者が重複しない形で渡していただいて実施した。その結果戻ってきたのが35で、渡した枚数は把握ができていない。

(委員) 渡した内の1割の答えなのか、5割の答えなのかで変わってくる。その辺りを明確にしてもらえるとありがたい。新野地区のアンケート調査はどれくらいに配って、どれくらいの方が返ってきたのかはわかるか。

(事務局) 説明会や町内サロン12か所のアンケートについては、直接手渡しをしてその場で回収という形で162名から回答をいただいた。高校生については郵送の形式で配布し、52人に対して回収状況は22名であった。

(委員) サロンなどの回答と高校生の回答に違いはあったか。

(事務局) 質問項目を変えて実施をした。

(委員) イメージするとどのような感じか。把握している状況をわかる範囲で教えてもらいたい。

(事務局) 高校生については、バスを利用されていなかった。JRが多数で、あとは家族の送迎で新野町外へ移動をされている。

(委員) 社会的なところも大きい利用状況などが悪くなっていて目標値を下回っている状況。この目標値を維持するのか、変えるのか、今後どうするのかというのはいらないと聞けない。

基本方針2のところに乗って残すという言葉があるが、この考え方としては、乗ってもらうように促すのか、本当に乗ってもらうような施策をするのか、どのように考えているか。

(事務局) 乗合タクシーの実証運行についても、デマンド型の有用性や新たな公共交通を真に利用したい方を把握したいという目的があり、効率的にできるだけ多くの方が利用していただけるような方向で進めたいと思っているのと同時に、今まで以上に乗っていただくという利用促進も図っていききたい。

(委員) 乗って残すと書いているというところから考えると、強制力のある乗って残す方法から、お願いですから乗って残しましょうねというところまでものすごく幅がある。今は、何とか乗って残しましょうねというところだ

ろうが、多くの地方自治体でもそうだが、それを言い続けて今の JR さんの問題とかはずっと残っていて、国がようやく何とかしましょうねという話になってきている。このまま同じことをやっても同じことをずっと繰り返す状況なので、乗って残すということをどう考えるかをちょっと考えてもいいのかなと思う。やり方はいろいろあるが、今の状況で好転するとはちょっと思えないところがある。

(会 長) 高齢者等の移動手段を持たない人を支援していくアプローチや、公共交通を残していくために車に乗る人をシフトするという実現性については、まだ計画が4年度から本格的にスタートしたところであり試行錯誤をしながらかつ地区のエリアマネジメントの中で何が最適解であるかを見極めながら考えていかなければならないと考えている。

また、公共交通計画の一部改定案についてご了承賜りましてよろしいでしょうか。

(全 委 員) 【異議なし】

## 議事 2. その他

(会 長) その他についてですが、何かございますか。

(委 員) 小学生公共交通体験乗車事業の交付対象事業が阿南市及び那賀町内となっているが、南部バスに乗り継いで例えば四ツ足峠や高の瀬狭に行くのはありなのか。

(事 務 局) 大丈夫である。

## 3. 閉 会

(事 務 局) 以上をもちまして、「令和5年度阿南市地域公共交通活性化協議会 第1回会議」を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上